



# 小値賀っ子だより



「島から日本一楽しい学校を」 令和3年1月12日 第11号 校長 重村誠一郎

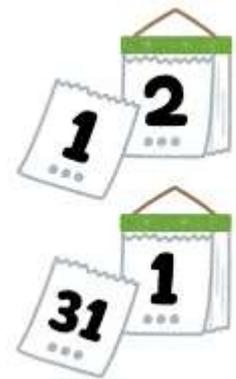
## 明けましておめでとうございます。



2021年（令和3年）がスタートしました。コロナの影響で町恒例の成人式の延期や消防出初式の中止など残念な面もありましたが、ご家族で温かくお元気に過ごされたでしょうか。皆様にとって健康でよい一年となりますよう願っております。

### 「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」

1月から3月は年度末に向けて慌ただしくなり、月日が足早に過ぎてしまうことを例え「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉がよく使われます。3月までの登校日数はわずか50日ほどです。この短い期間に「学年のまとめ」「進級・進学への心構え」「6年生との思い出作り」等々がぎゅっと詰まった3学期になります。一人一人が新年の節目にめあてを持ち、一日一日を大切に過ごそう、始業式で子どもたちに話をしました。



3学期も本校・分校の職員一同、コロナ対策を行いながら子どもたちの教育活動に全力で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 【気持ちのよい元気なあいさつを目指して】

学校ではもちろん年間をとおしてあいさつの指導をしており、6年生も中学生と一緒にあいさつ運動を行っています。ところが年末に行った学校評価や職員の反省等で、「子供たちのあいさつに元気がない」との声がありました。

私も毎日のように校門で子供たちとあいさつを交わしています。しかしながら、「元気さ」は今一つと感じる場面が多いことも確かです。子供たちの様子を見てみると、全員がちゃんとあいさつをしているのですが、改善すべきは声の大きさかなと感じています。そこで、始業式後、生活指導担当から「あいさつの声のボリュームを上げる」ことに焦点を当てて指導を行いました。

小学生らしく気持ちよい元気なあいさつの指導を今後も学校全体の重点課題の一つとして取り組んでいきます。ご家庭での声かけもよろしくお願い致します。

